埼玉県立大学保健医療福祉科学学会　現理事長･新理事長からのご挨拶

現理事長からのご挨拶

2021 年 4 月、埼玉県立大学学長に就任するとともに、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会理事長に就任いたしました。この 4 年間、学会運営において会員の皆様、埼玉県立大学の各科・学科・専攻の皆様に多大なご協力をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。

本学会は、埼玉県立大学創立 10 周年記念事業の一環として、2009 年 11 月 1 日に開催された「埼玉県立大学保健医療福祉科学学会創設記念集会」において入会呼びかけを開始し 2010 年 3 月 1 日に発足しました。本学会の目的は以下の通りです。

1. 保健医療福祉の発展と会員相互の学術的・学際的研鑽
2. 保健医療福祉サービスの質の向上とキャリアアップの継続的な支援
3. 国内外における保健医療福祉関係者、地域産学官との連携と協力関係の構築

本学会は、埼玉県立大学の特徴である多様な各科・学科・専攻が毎年輪番制で運営を担当し、それぞれの専門分野に関連するトピックスをテーマに、卒業生の協力を得ながら興味を引く学術集会を開催してきました。

この 4 年間、改めて本学会の役割を考えた際、学問の多様性や専門性を活かし、地域社会への還元や卒業生との連携の促進が重要であると実感しました。本学会は、創設者たちの想いを継承し、埼玉県立大学の持続的発展に貢献し続けてきました。次期理事長に就任する林裕栄教授が、この学会をさらに新しいステージへと導いてくださることを期待しています。今後の発展を祈念し、心より感謝申し上げます。

埼玉県立大学保健医療福祉科学学会 現理事長　星 文彦

新理事長からのご挨拶

2025 年度から埼玉県立大学保健医療福祉科学学会理事長に就任します林裕栄です。どうぞよろしくお願いいたします。私は、3 年前までの 6 年間、本学会の総務委員長として学会の発展を支えてまいりました。歴代の理事長のご指導のもと、総務委員長として、外部の幹事を登用すること、年 2 回のニュースレター発行、埼玉県立大学が主催する研修会の共催、大学院の中間発表を学術集会で活用できるよう働きかけるなど、さまざまな活動を行ってまいりました。

学術集会においては、学術集会長の専門に応じた多様な講演会やシンポジウムが開催され、素晴らしい企画が数多く実施されています。しかしながら、演題発表や学会誌への投稿数が少ないという現状もあります。本学会は、理事や委員の皆様のご尽力によって成り立っている一方で、運営における厳しさも感じているのが現状です。

今後、本学会をどのように発展させていくか、会員の皆様からの忌憚のないご意見をいただき、一緒に考えていきたいと考えております。皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

埼玉県保健医療福祉科学学会 新理事長　林 裕栄

入会のご案内

日頃の成果発表の場として是非本学会をご活用下さい

年会費：正会員 4,000 円　準会員 1,000 円
賛助会員 1 口 5000 円以上

入会方法：年会費をお振込みの上、下記 URL または QR コードより入会申込フォームにご入力下さい。

【入会申込フォーム】
https://swebclass.spu.ac.jp/webclass/login.php?id=8f5d3518ff1b4b866a45c300ebfc3d48&page=1
※「ゲストログイン」より開始

【会費振込先】
郵便振替 ※銀行振込をご希望の方は本学会 HP をご確認下さい
加入者名：埼玉県立大学保健医療福祉科学学会
口座番号：00110－2－595897

【入会に関するお問い合わせ】
事務局 E-mail：gakkai@spu.ac.jp
会計係 E-mail：gakkai-kaikei@spu.ac.jp

『保健医療福祉科学』 投稿論文募集

本学会では、「科学技術情報発信・流通総合システム」（J-STAGE）に機関誌を登載しています。

○論文は年間を通して随時受け付けております。ご投稿の際には、投稿規程および倫理指針をご熟読の上、ご投稿ください。尚、投稿規程等は学会 HP で最新版をご確認いただくようをお願いします。

最新情報はこちら

○学外からの投稿者は、投稿先をお伝え致しますので、メールにてご連絡下さい。皆様からのご投稿をお待ちしております。

【投稿に関するお問い合わせ】
編集事務局　E-mail：spu-jhcs@spu.ac.jp

埼玉県立大学保健医療福祉科学学会（SPU 学会）News Letter

2025 年 3 月
第 10 号

埼玉県立大学保健医療福祉科学学会（SPU 学会）　〒3438540 埼玉県越谷市三野宮 820
URL: https://www.spu.ac.jp/about/society/　E-mail: spu-jhcs@spu.ac.jp

第 10 号目次

1 埼玉県立大学保健医療福祉科学学会 第 15 回学術集会報告
2 埼玉県立大学保健医療福祉科学学会 第 16 回学術集会開催予定
3 2024 年度埼玉県立大学保健医療福祉科学学会 総会報告
4 お知らせ・会員連絡
5 現理事長・新理事長からのご挨拶
6 入会のご案内
7 『保健医療福祉科学』投稿論文募集

埼玉県立大学保健医療福祉科学学会　第 15 回学術集会報告

1．開催概要

2024 年 11 月 9 日(土)、埼玉県立大学(対面開催)
テーマ「こどもに寄り添う多職種連携」
参加登録者数 109 名

2．プログラム

【シンポジウム】
テーマ：「不登校と向き合う連携を考える」
演者：北井佳代（埼玉県スクールソーシャルワーカー）
梶原真弓（東京都スクールカウンセラー）
鎌倉賢哉（NPO 法人越谷らるご理事長）
司会：東　宏行（埼玉県立大学）

【教育講演】
テーマ：「養護教諭と学校薬剤師が協働で実施する学校保健活動」
講師：加地弘明（就実大学大学院）　司会：田中健一（埼玉県立大学）

【パネルディスカッション】
テーマ：「養護教諭として、こどもに寄り添う」
演者：廣池友希乃（大袋幼稚園）、小俣あずさ（さいたま市立尾間木小学校）
上井初希（足立区立第十一中学校）、高山実咲（帝京高等学校）
司会：上原美子（埼玉県立大学）

3．学術集会長総括

2024 年 11 月 9 日（土）、埼玉県立大学において、第 15 回埼玉県立大学保健医療福祉科学学会学術集会を開催いたしました。今回は「こどもに寄り添う多職種連携」をテーマに、さまざまな分野の専門家が集まり、こども支援における多職種連携の重要性と実践方法について議論しました。

午前のプログラムでは、シンポジウム「不登校と向き合う連携を考える」を開催しました。埼玉県スクールソーシャルワーカーの北井氏、東京都スクールカウンセラーの梶原氏、NPO 法人越谷らるご理事長の鎌倉氏が登壇し、それぞれの立場から不登校の児童・生徒への支援の現状や課題についてお話し頂きました。特に、異なる職種がどのように連携して支援を行い、課題にどのように取り組むかについて活発な議論が行われました。

午後には、「養護教諭と学校薬剤師が協働で実施する学校保健活動」をテーマにした教育講演が行われました。就実大学大学院の加地准教授が講師を務め、学校保健活動における養護教諭と学校薬剤師の連携の重要性について講演されました。特に、児童・生徒の健康管理における多職種連携の必要性と実際の連携事例を基にした具体的な方法論について深く学ぶことができました。

最後に行われたパネルディスカッションでは、「養護教諭として、こどもに寄り添う」をテーマに、幼稚園、小学校、中学校、高等学校で養護教諭として活躍する本学卒業生が登壇しました。パネリストたちは、こどもたちの心身の健康を支えるための多職種連携の実際について具体的な事例を紹介しました。異なる教育環境での取り組みの差異や共通点について意見交換が行われ、参加者はさまざまな視点から学ぶことができました。

本学術集会を通じて、こどもに寄り添う多職種連携の重要性が改めて認識され、各職種間での連携を強化するための実践的な知識が得られたことが大きな成果です。今後も、こども支援における多職種連携のモデルケースをさらに発展させていくことが求められます。今後もこのような機会を継続的に提供することが重要であると感じました。

埼玉県立大学保健医療福祉科学学会 第 15 回学術集会長　東　宏行

埼玉県立大学保健医療福祉科学学会 第 16 回学術集会 開催予定

第 16 回学術集会長　　健康開発学科 検査技術科学専攻 教授 有竹 清夏

このたび埼玉県立大学保健医療福祉科学学会第 16 回学術集会を開催する運びとなりました。

今回の学会テーマは「保健医療福祉分野における研究と国際化を考える」です。公立大学は保健医療福祉に関する教育・研究の中核となって地域社会に貢献することを使命としておりますが、教育・研究における国際化も今や大学・大学院において中心的な役割を果たすものと位置付けられている、といっても過言ではありません。

次年度の学術集会では、保健医療福祉分野の各領域において国際性に紐づいたご研究や取り組みを精力的に行われている先生方を中心に、臨床検査教育の国際化、国際看護、外国人の社会参加、国際歯科学、英語教育学、グローバルヘルス、リハビリテーションの国際化といった様々な国際的視点から当該分野における現況や研究・教育・臨床についてお話しいただく予定です。これにより保健医療福祉分野で活動する方々をはじめ学生の国際性の今後を改めて考える機会にしたいと考えています。また次年度学会では、学部学生や院生・研究員の研究発表の場を設け、学生の研究発表によるプレゼンテーション賞の表彰も行いたいと考えております。保護者の皆様にも来学機会としていただき、卒業生にとってホームカミングデーのような場になればと思います。ご参加される皆様にとって有意義な学会となるよう鋭意準備を進めたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。

2024 年度埼玉県立大学保健医療福祉科学学会 総会報告

日時：2024年6月10日（月）12:20～12:56

場所：Zoomによる遠隔会議

出席者：星理事長 他22名、委任状提出者15名　合計38名

正会員数130名中10分の1の出席数のため総会は成立

【報告事項】

1）第15回学術集会について(高柳理事・東学術集会長)

テーマは「こどもに寄り添う多職種連携」。詳細については現在調整中（専門家によるシンポジウム・教育講演会、卒業生を招いて課題や提言に関するワークショップを予定）である。卒業生が教育現場で活躍しており、特に学校関係では多職種連携が機能している場となっている。そのことを含め学術集会を準備・開催していく予定である。

2）入会状況および年会費納入状況（押野理事）　資料１

資料に基づき、入会状況および年会費納入状況の報告があった。

3）2024年度役員・委員会体制（常盤理事）　資料２

2024年度役員および各委員体制について報告があった。

【協議事項】

1）2023年度事業報告(常盤理事)　資料３

資料に基づき2023年度の事業報告があった。編集委員長 鈴木理事より「論文の応募はあったが査読後修正原稿が出ず2023年度は投稿0件となった。応募者の中で、今後投稿の意思がある方もいるため随時対応していく予定である」と追加説明があった。質疑はなく事業報告は承認された。

2）2023年度決算報告（押野理事）　資料４

資料に基づき2023年度収入の部と支出の部の決算報告があった。監事 濱口理事より「学術集会開催経費について、海外からゲストを招く等の理由で予算額15万円を超過した。超過分を予備費より補正予算として計上した」と追加説明があった。質疑はなく決裁報告は承認された。

3）2024年度事業計画（常盤理事）　資料５

資料に基づき2024年度事業計画が提案され承認された。

4）2024年度予算案（押野理事）　資料６

資料に基づき2024年度収入の部と支出の部の予算案について説明があった。以下の意見交換がなされ、提案通りで承認された。

（意見）

・学術集会開催経費を増額するのはどうか。

⇒予算額を増額するには相応の理由が必要。今後3年程度学会開催費の動向をみて適切な予算額を設定する。2024年度学術集会開催費補助は増額せず不足分は予備費から補填する。

5）次次期学術集会長の選出について

社会福祉こども学科 林恵津子理事が担当することが決定し、林理事よりご挨拶があった。

資料１

会員入会状況及び会費納入状況

2024年4月1日現在

所属		2024年4月1日会員数(名)	2024年3月31日会員数(名)	2023度会費納入者数(名)	2023年度会費納入率(%)	2023年4月1日会員数(名)	2022年度会費納入率(%)
名誉会員	名誉会員	5	5	5		5	
正会員	学長	1	1	1	100%	1	100%
	共通教育科	6	7	6	86%	5	80%
	看護学科	34	40	38	95%	38	79%
	理学療法学科	7	7	5	71%	7	86%
	作業療法学科	6	6	6	100%	5	83%
	社会福祉子ども学科	12	12	11	92%	11	92%
	健康開発学科	8	9	9	100%	8	83%
	研究開発センター	1	1	1	100%	1	100%
	大学院研究科	0	1	1	100%	2	100%
	学外	49	52	37	71%	51	63%
準会員	学生会員	0	0	0		0	100%
賛助会員	同窓会	1	1	1	100%	1	100%
	計	130	142	116	82%	135	74%

2023年4月1日～2024年3月31日の入退会
入会7名：学外1、看護2名、作業1名、共通2名、社福1名
退会11名：学外4名、看護5名、共通1名、研究科1名
2023度末退会処分者（要検討）1名：学外1名

2024年4月1日～
身分移動2名：看護→学外1名、健康→学外1名

資料２

【2024 年度】埼玉県立大学保健医療福祉科学学会役員(2024.4)

役職	氏名
理事長	星 文彦
副理事長	金村 尚彦
理事	常盤 文枝
	鈴木 玲子
	須永 康代
	小川 孔美
	廣渡 祐史
	林 恵津子
	藤川 剛
	押野 修司
	高柳 雅朗
監事	濱口 豊太
	佐藤 安代
学術集会長	東 宏行

【2024 年度】委員会体制(案)　※下線は理事

委員会名	委員長	委員	業務分掌
学術集会企画運営委員会	高柳 雅朗	小川 孔美・須永 康代・千葉 真希子	学術集会の企画、運営
学会誌編集委員会	鈴木 玲子	浅川 泰宏・金 さやか・小泉 浩平・岡 桃子・中村 高仁・柳澤 伸彰	「保健医療福祉科学」の編集、発行
広報委員会	林 恵津子	廣渡 祐史	HP の管理
会計委員会	押野 修司	江良 裕子・阿部 真純	予算・決算案の作成、会員管理、会費徴収、督促
総務委員会	常盤 文枝	東口 晴菜	理事会、総会の準備、運営、会則関係、学会誌の送付

資料３

2023 年度 埼玉県立大学保健医療福祉科学会 事業報告

1. 第 14 回学術集会の開催
日程 ： 2023 年 11 月 25 日(土)
会場 ： 埼玉県立大学(対面開催)
テーマ：「多様な社会実装」
学術集会長 中村 裕美(埼玉県立大学 作業療法学科)

2. 会議の開催
理事会開催
第1回 ： 2023年5月9日
第2回 ： 2023年9月5日(臨時開催メール審議)
第3回 ： 2023年11月13日
第4回 ： 2024 年3月5日

総会開催
日程 ： 2023 年 6 月 26 日(月) 12 時 20～12 時 50 分 オンライン開催

3. 学術誌編集委員会
学術誌「保健医療福祉科学」発行なし

4. 広報委員会
埼玉県立大学保健医療福祉科学学会ホームページでニュースレター第 8 号・第 9 号の掲載

5. 学術集会企画運営委員会
学術集会の準備・運営、ニュースレター第 8 号および第 9 号に掲載する原稿作成

6. 会計委員会
会計管理、会費徴収

7. 総務委員会
理事会の開催、総会の開催、ニュースレター8 号の編集および配信、第 9 号の編集および送付

資料４

2023年度 埼玉県立大学保健医療福祉科学学会 決算書

2024年3月21日現在

(単位:円)

【収入の部】

科目	細目	予算額	決算額	差額	備考
会費	正会員	480,000	552,000	72,000	4000円×138名(内訳)2023年度118名、2022年度15名 2021年度5名 2020年度2名)
	賛助会員	100,000	100,000	0	20口@5,000円 (後援会)
	学生会員	5,000	0	-5,000	
雑収入	1)寄付金	0	0	0	
	2)預金利息	10	18	8	
	3)その他入金	13000	660	-12,340	医学中央雑誌新聞掲載料用料
	計	598,010	652,678	54,668	
繰越金	繰越金	2,387,746	2,387,746	0	
	総計	2,985,756	3,040,424	54,668	

【支出の部】

(単位:円)

科目	細目	予算額	決算額	差額	
会議費		30,000	0	30,000	
	1)会議開催費	20,000	0	20,000	
	2)交通費	10,000	0	10,000	
機関誌刊行費		400,000	10,000	390,000	
	1)印刷費	60,000	0	60,000	
	2)消耗品費	10,000	0	10,000	
	3)原稿料等	40,000	0	40,000	
	4)事務委託費	190,000	0	190,000	
	5)雑謝金	100,000	10,000	90,000	5,000円×2名
学会事務費		100,000	29,970	70,030	
	1)入件費	60,000	5,000	55,000	ニュースレターアルバイト代
	2)消耗品費	25,000	0	25,000	
	3)コピー等印刷費	10,000	24,970	-14,970	ニュースレター印刷代
	4)手数料	5,000	0	5,000	
通信費		40,000	15,140	24,860	郵送費
学術集会開催経費補助		150,000	150,000	0	
予備費		2,265,756	160,807	2,104,949	補正128,000円、赤字補填24,807円
	総計	2,985,756	365,917	2,619,839	

総収入:3,040,424円　総支出:365,917円　残高:2,674,507円(次年度へ繰り越し予定)

会計監査報告

監査の結果、2023年度会計収支報告書は適正であることを認める。

2024年3月31日

監事 濱口豊太 ㊞

監事 佐藤安代 ㊞

資料５

2024 年度 埼玉県立大学保健医療福祉科学会 事業計画(案)

1. 第 15 回学術集会の開催
日程 ： 2024 年 11 月 9 日(土)
会場 ： 埼玉県立大学(対面開催)
テーマ：「こどもに寄り添う多職種連携」
学術集会長 東 宏行(埼玉県立大学 共通教育科)

2. 会議の開催
理事会開催
第1回 ： 2024 年 5 月 7 日(火)
第2回 ： 2024 年 10 月(予定)
第3回 ： 2025 年 2 月(予定)

総会開催
日程 ： 2024 年 6 月 10 日(月) 12 時 20～12 時 50 分 オンライン開催

3. 学術誌編集委員会
学術誌「保健医療福祉科学」第 13 巻の発行
投稿規定などの見直し

4. 広報委員会
埼玉県立大学保健医療福祉科学学会ホームページでニュースレター第 10 号・第 11 号の掲載

5. 学術集会企画運営委員会
学術集会の準備・運営、ニュースレター第 10 号および第 11 号に掲載する原稿作成

6. 会計委員会
会計管理、会費徴収

7. 総務委員会
理事会の開催、総会の開催、ニュースレター10 号の編集および配信、第 11 号の編集および送付

資料６

2024年度　埼玉県立大学保健医療福祉科学学会予算(案)

2024.06.08

【収入の部】

科目	細目	予算額	前年度予算額	差額	備考
会費	正会員	440,000	480,000	-40,000	2024年度分110口 @4,000円
	賛助会員	100,000	100,000	0	20口 @5,000円
	学生会員	5,000	5,000	0	5口 @1,000円
雑収入	1)寄付金	0	0	0	
	2)預金利息	10	10	0	
	3)その他入金	3000	13000	-10,000	医学中央雑誌新聞掲載料用料
	計	548,010	598,010	-50,000	
繰越金		2,674,507	2,387,746	286,761	
	総計	3,222,517	2,985,756	236,761	

【支出の部】

科目	細目	予算額	前年度予算額	差額	備考
会議費		30,000	30,000	0	
	1)会議開催費	20,000	20,000	0	理事会、委員会
	2)交通費	10,000	10,000	0	
機関誌刊行費		600,000	400,000	200,000	
	1)印刷費	60,000	60,000	0	
	2)消耗品費	10,000	10,000	0	
	3)原稿料等	50,000	40,000	10,000	英文校閲料等
	4)事務委託費	380,000	190,000	190,000	論文組版、PDFデータ化作業、アップロード作業
	5)雑謝金	100,000	100,000	0	5,000円×20名
学会事務費		120,000	100,000	20,000	
	1)人件費	60,000	60,000	0	
	2)消耗品費	25,000	25,000	0	
	3)コピー等印刷費	30,000	10,000	20,000	ニュースレター印刷代
	4)手数料	5,000	5,000	0	振込手数料
通信費		40,000	40,000	0	切手代等
学術集会開催経費補助		150,000	150,000	0	会議・資料印刷、看板作製、謝礼金等
予備費		2,262,517	2,265,756	-16,761	
	総計	3,222,517	2,985,756	236,761	

お知らせ・会員連絡

○ニュースレターや学術集会の情報は、本学会 HP にも掲載しております。是非、ご高覧ください。

○埼玉県立大学保健医療福祉科学学会の今後の在り方に関するアンケート〔2024 年 11 月 25 日～　12 月 20 日 Web にて実施〕へご回答くださりありがとうございました。2025 年度 総会で方針提案についてご説明する予定です。是非ご参加のほどよろしくお願いいたします。

○会員情報に変更がある方は、HP より「変更退会連絡用紙」にご記入の上、事務局までご連絡ください。尚、退会される場合は、当該年度 3 月末までにご連絡下さい。

学会 HP はこちらからアクセス

【埼玉県立大学保健医療科学学会事務局】
〒343-8540 埼玉県越谷市三野宮 820 番地　埼玉県立大学内　　E-mail：gakkai@spu.ac.jp